広報たかのす
発行所　鷹巣町役場町長室
電話(代)550番　直通42番
（発行部数 6.100部）
印刷所　秋北新聞社

第4回定例町議会

ゴミ処理場建設に二千六十五万円を計上

—収入役に笹原氏を同意—

第四回町議会六月定例会は六月十五日から同月二十三日までの九日間の会期で役場会議室で行なわれました。六月十五日の本会議では会期の決定後、出川町長から町長の町政の方針説明（別掲）町税条例の一部改正条例を可決。町政に対する一般質問を通告順に質問した。翌十六日は休会、十七日は本会議を行ない、一般質問（残分）、町一般会計補正予算六件、単行議案四件、陳情書を各常任委員会に付託した。十八日から二十一日まで休会したが各委員会では付託議案審議を行なう。最終日二十三日は本会議、追加議案の収入役および監査委員の選任の同意を会議の冒頭に満場一致で同意した。その後各常任委員長から付託案件について審査報告があり、一部請願を除きそれぞれ原案通り可決した。【写真は町議会で施政方針をのべる出川町長】

町一般会計補正予算の内容

昭和四十二年一般会計補正予算八第一号〈の主な内容は次のとおりです。

▽補正額
八千六八二万円
▽補正後の総額
三億九千四二五万四四千円
▽歳　入
町税九百九十六万千円、地方交付税二千百万円、国庫支出金三百十八万円、県支出金千十一万八千円、財産収入二千二百六十二万五千円、繰入金百五十万円、諸収入三百四十三万一千円、町債千五百万円、補正額合計八千六百八十二万円
▽地方債の補正（町債）
補正前計　千百五十万円
補正額
衛生施設債千二百万円
道路事業債百万円
教育施設債二百万円
▽歳　出
▽総務費二百十三万八千円（職員厚生費補助二十一万八千円、大館北秋田自治者誌刊行負担金二十二万円、鷹巣阿仁地域総合開発促進協議会負担十七万五千八百円、北秋田郡町村会負担金七十八万二千円、鷹巣地区防犯組合十五万円、選挙費三十五万円など）▽民生費百一万八千円（老人クラブ六団体に対する補助十万円、敬老会開催交付金三十二万一千九百円、郡社福協八万六千円、町社福協五万円、町戦歿者慰霊祭十五万円、町遺族連合会、司法保護司会、町身体障害者更正協各二万円、子ども会リーダー養成講習会二万円、町少年保護育成委三万円、季節保育所開設三ヵ所四万五千円、保育所採暖費八万円、年金協力員協三万円、年金協力員の補助金の追加）

ゴミ処理場建設に二千六十五万円

▽衛生費二千百三十七万円（BCG接種用ワクチン事百九十二万円＝計二千四十二万円、その他建設諸費万九千五百円、同消毒器材就職生徒の激励新聞代として六、七月の二カ月間七十六、七月の二カ月間七十六事業所など、送付するための三万一千円）

農業振興補助などに百五十四万六千円

中小企業振興資金保証に百万円予託

▽農林水産業費百五十四万千円、健康な稲作りろう水防止対策事業補助八万六千四百円、降ヒョウ被害対策総合パイロット事業促進協議会負担六十二万三千円、林業構造改善推進協など四万天災融資金利子補給補助七十五万四千円、健康な稲作り運動推進協など農業振興関係団体に対する補助三十万七千円、稲病虫害防除大型機械購入補助六十二万四千円（農業委員会計補助十三万六千円、大野台地区総合パイロット事業促進協計繰出金十七万円、林業構造改善推進協など四万天災融資金利子補給補助七十五万四千円、健康な稲作り運動推進協など農業振興関係団体に対する補助三十万七千円、稲病虫害防除大型機械購入補助六十二万四千円）▽商工費百七万五千円（物産展などへ七万五千円）▽鷹巣町中小企業振興資金保証制度予託金百万円）

鷹巣駅前道路拡幅工事負担など土木費に千二百八十二万五千円

▽土木費千二百八十二万五千円（中型ダンプ一台購入（保険料とも）百七万三千円、胡桃館地内（坊入）（保険料とも）百七万三千円）

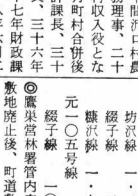
中学校集団宿泊所建設に六百万円

▽教育費三千二百八十五万四千円（教育研究会補助金百万円、鷹巣中十周年記念式典補助十万円、鷹巣阿仁部教育事務協議会二十五万二千円、坊沢小屋根修繕十万円、鷹小水泳プール浄化そうタンク手入十五万七千円、鷹巣中ピアノ購入六十万円、南中跨写ファックス購入二十万円、集団宿泊所＝建築工事四百五十万円）

特別会計補正予算

▽綴子簡易水道会計補正予算〈第一号〉
補正額
三百七万六千円
▽栄財産区管理会一般会計補正予算〈第一号〉
補正額
二百五十四万三千円

収入役に笹原氏再任



六月二十三日開かれた六月定例町議会で収入役選任の結果、笹原一氏が同意されました。これは収入役笹原一氏が六月二十七日任期満了となったもの。

笹原一氏（写真）は、昭和四年鷹巣農林学校卒業、二十三年から一年間沢口村農業協同組合専務理事、二十八年四月沢口村合併後鷹巣町役場会計課長、三十年、三十年収入役室長、三十六年保険課長、三十七年財政課長を歴任、三十八年六月二十八日収入役となり現在に至る。

現在所　鷹巣町鷹巣字平崎上岱三の二　沢口出身。

監査委員に太田見氏再任

監査委員太田見礼吉氏が六月二十六日任期満了となるので、後任監査委員に同氏を議会の同意を求めるもの。

〈同意第二号〉
太田見礼吉氏（住所鷹巣字北鷹巣三二六番地）

鷹巣町役場会計課長、三十年、三十年収入役室長、三十六年保険課長、三十七年財政課長を歴任、三十八年六月二十八日収入役となり現在に至る。

現在所　鷹巣町鷹巣字平崎上岱三の二　沢口出身。

字界の変更

今泉土地改良区で、土地改良事業を行なった結果、字の境界変更を要することになったもの。

変更前
今泉字今泉六の九外一三五筆を同所字大堤下にするもの。〈議案第四二号〉

道路の認定

◎国営土地改良事業によって造成した道路が完成し、知事から町道として認定の申請があったもの。

横溜～大野岱線
四・三㍍
佐助岱線　七五〇㍍
前山線　二・二㍍　六五〇㍍
伊勢堂線　四〇〇㍍
坊沢線　一・二㍍　二㍍
綴子線　一・九㍍　一・九㍍
糠沢線　元一〇五号線　一〇〇㍍
綴子線
元国道七号線　二・二㍍　六五〇㍍
前山線
伊勢堂線　四〇〇㍍
坊沢線　一・二㍍　二㍍
綴子線　一・九㍍　一・九㍍
糠沢線　元一〇五号線　一〇〇㍍
綴子線

◎鷹巣営林署管内森林軌道敷地廃止後、町道敷地とするため、無償貸付方を秋田営林局長に申請するもの。

糠沢林道
坊沢林道
綴子線
鷹巣林道
坊川林道
小森林道
鷹巣林道大湯津内支線

町税条例を一部改正

昭和四十二年度における地方税法の一部改正によりつぎのとおり町条例も改正されました。

〈議案第三四号〉
主な改正内容は次のとおりです。

延滞金の起算日の改正

第十九条（納期限後に納付又は納入する税金又は納入金に係る延滞金）関係延滞金の計算の方法の改正で、

税徴収又は納入金の延滞金は、納期限の翌日から一月を経過するまでの期間については日税について一日二銭、その後の期間については百円について一日四銭とした。

非課税限度額の引上げ

第二十四条第一項第四号（個人の町民税の非課税範囲）改正

障害者、未成年者、老年者または寡婦の前年中の退職所得以外の所得が二十四万円以下である場合は、これらの町民税を課さないとされていたが、生計費の増加等を考慮して、この非課税限度を二万円引き上げて二十六万円とした。

法人均等割の税率の引上げ

第三十条（均等割の税率）の改正

法人の均等割の税率は、法人の規模が拡大し、物価水準が上昇しているのに、税率が昭和二十九年度からすえ置かれているため、他の税負担と均衡を失しないようにしたものです。

①資本の金額または出資金額が千万円をこえる法人（公共法人、公益法人等（同額）した場合、約三百五十五万七千円の増収になります。

②①の法人以外の法人等
年額　三千二百円
（改正前は千五百円）

所得税の確定申告書を提出した者の取り扱い

第三十五の三（所得税に係る更正または決定事項の申告義務）の改正

所得税の確定申告書を提出しない者は、住民税の所得控除などは認められることになりました。

特別徴収税額の納期の特例

第四十四条（特別徴収義務者の指定等）に、新に特別徴収税額の納期の特別の規定が設けられました。

特別徴収義務者の徴収事務の負担を軽減するもので特別徴収義務者は、その事業所などで給与または退職手当等を受ける者が常時十人未満であるものについて、町長の承認を受けた場合は、年二回（六月十日まで一退職手当等については四月十月まで十一月から翌年三月まで）に分けて納入することができるとしたもの。

戦傷病者手帳を受けている者も減免措置

第八十六条の二（身体障害者に対する軽自動車税の減免）の改正

身体障害者と同様に、戦傷病者特別援護法による戦傷病者手帳の交付を受けている場合でも、申請により減免することになった。

税率を引上げる

たばこ消費税の税率改正で、税率を百分の十五から十八・一に引上げたもの。

本町では、昨年度と比較額が千万円をこえる法人（公共法人、公益法人等で均等割のみを課されるものを除く）。および相互会社は、

七月のこよみ

1日　国民安全の日、全国安全週間
7日　たなばた祭り
10日　第19回国土建設週間
14日　港の衛生週間
16日　家庭の日
17日　海上安全週間
20日　海の記念日

炊事用備品及び寝具等百五十万円、鷹巣高校建築負担金千八百九十五万八千円、大館北秋田郡聴覚教育協負担金十二万七千円、交通安全対協五万円、文化財発掘調査補助二十万円、綴子内館文庫収納庫建築補助五十万円、青年学級非常勤講師手当十五万円、全県公民館大会協賛費十一万円　社教関係講習会等参加補助十五万五千円、児童公園プランコ二十五万八千円、体協補助十五万円、町民体育祭補助十五万円、その他体育関係補助二十四万円、野球場スコアボート新設二十五万五千円、陸上競技場整備工事二十万円。十万円以下項目金額は省略しました）▽公債費四百九十万円（償還元金四百万円、同利子九十万万七千円（法務局鷹巣出張所新築・建物取得三百六十六万七千円、他会計繰出金百五十五万円）
歳出合計八千六百八十二万円
〈議案第三六号〉

特別会計補正予算

▽切沢財産区会計補正予算〈第一号〉
補正額六六七万六千円
▽七日市財産区補正予算〈第一号
補正額
七万七千円
〈議案第三七、三八、三九、四〇号〉

道路の認定

昭和四十二年度における地方税法の一部改正によりつぎのとおり町条例も改正されました。

〈議案第三四号〉
主な改正内容は次のとおりです。

延滞金の起算日の改正

第十九条（納期限後に納付又は納入する税金又は納入金に係る延滞金）関係延滞金の計算の方法の改正

税徴収又は納入金の延滞金は、納期限の翌日から一月を経過するまでの期間について一日二銭、その後の期間については百円について一日四銭とした。

非課税限度額の引上げ

第二十四条第一項第四号（個人の町民税の非課税範囲）改正

障害者、未成年者、老年者または寡婦の前年中の退職所得以外の所得が二十四万円以下である場合は、これらの町民税を課さないとされていたが、生計費の増加等を考慮して、この非課税限度を二万円引き上げて二十六万円とした。

法人均等割の税率の引上げ

第三十条（均等割の税率）の改正

法人の均等割の税率は、法人の規模が拡大し、物価水準が上昇しているのに、税率が昭和二十九年度からすえ置かれているため、他の税負担と均衡を失しないようにしたものです。

①資本の金額または出資金額が千万円をこえる法人（公共法人、公益法人等で均等割のみを課されるものを除く）。および相互会社は、

年額　五千五百円
②①の法人以外の法人等
年額　三千二百円
（改正前は千五百円）

所得税の確定申告書を提出した者の取り扱い

第三十五の三（所得税に係る更正または決定事項の申告義務）の改正

所得税の確定申告書を提出しない者は、住民税の所得控除などは認められるために、住民税の申告書を提出しなければなりません。所得税の確定申告書を提出する者は、その所得控除などが認められることになりました。

特別徴収税額の納期の特例

第四十四条（特別徴収義務者の指定等）に、新に特別徴収税額の納期の特別の規定が設けられました。

特別徴収義務者の徴収事務の負担を軽減するもので特別徴収義務者は、その事業所などで給与または退職手当等を受ける者が常時十人未満であるものについて、町長の承認を受けた場合は、年二回（六月十日まで一退職手当等については四月十月まで十一月から翌年三月まで）に分けて納入することができるとしたもの。

戦傷病者手帳を受けている者も減免措置

第八十六条の二（身体障害者に対する軽自動車税の減免）の改正

身体障害者と同様に、戦傷病者特別援護法による戦傷病者手帳の交付を受けている場合でも、申請により減免することになった。

税率を引上げる

たばこ消費税の税率改正で、税率を百分の十五から十八・一に引上げたもの。

本町では、昨年度と比較額が千万円をこえる法人（同額）した場合、約三百五十五万七千円の増収になります。

今月の納税

固定資産税　第2期
国民健康保険税　第2期
◎納税は納税貯蓄組合で

町長の施政方針説明

六月十五日開かれた第六回町議会定例会本会議において、会議の冒頭に町長の町政に対する施政方針の説明を行ないましたが、その内容は次のとおりです。〔写真＝出川町長〕

町民の声を町政に反映させたい

私はちょうど町長に就任いたしましてから一カ月経過いたして、選挙に際し町民に約束した新しい町造を確実に実行しなければならない責任を持つことになりました。

私は議会議員であった時議員の皆さまと共通的な立場で考えてきたいろいろの施策、また選挙期間中実際にみて参りました町の姿、そして町長の椅子に座った一カ月間の役場事務を主体とした実態から、町政の基本的な政策と構想を申し上げたいと思います。

その第一点は町民と話し合いをし、それを正しく町政に反映させていかなければならないと思います。

その段階としては、住民の代表である町議会議員の皆さまと議会を通じ、じゅうぶんご審議をお願いすることはもちろんのことであります。

そんで忌憚なく町政を論じまた町内の方々から貴重なご意見を承ったのでございます。

また町広報の役割も一段と高めたいし、一段の創意くふうをしたい考えであります。

産業の振興と所得の向上

第二点は、産業の振興を図らなければならないと思います。

町の台所を賄うのは税金であり、所得を増やすことは最大の眼目であります。その方法はたくさんあるわけで、農業、工業、商業において生産を増大させると、売り上げを増やし安定した所得を増やし安定した持続維持することです。

農業については、各種団体とくに農協、土地改良区などの持ち味を十分活用いたしたいと思います。

企業農業が叫ばれてからだいぶん久しくなり、個々の反対などあって難関にぶつかっていますが、これは全地域に関係はないが、大野台の総合開発はことしから三カ年調査し、その後七年で工事が完了しますが、約二千七百町歩位の開田が、五十億円を投じ国営事業で行なわれます。当町では六百町歩ぐらいの開田が行なわれ、稲作収入も増加とともに、調査期間中でも実施期間中でも農家の経営規模の拡大のためであります。

それから中学校の集団宿泊所の側に寄宿舎を設置しご審議をお願いしますが、議員個々の方々と随時話合いをして参りたいと思います。また、移動教室などを通じ、町内の各地域各層、各団体などの方々と話し合いをしてまいりたいと思います。私はこの一カ月間二十近い団体の方と会い、またその他の会合にのぞんで忌憚なく町政を論じ、また町内の方々から貴重なご意見を承ったのでございます。

また町広報の役割も一段と高めたいし、一段の創意くふうをしたい考えであります。

商工業者への金融緩和をはかる

商工業については業種も多く、内容も多岐で一概にどうともいえませんが、できれば業種別共同組織を作ることを助長しなくてはならないと考えております。

また低物価政策に競争力を持たせるため、企業診断を求めてまいりたいと思います。また、鷹巣町は物価が高いといわれていますので、これについても善処したいと考えております。

さらに町費の一部を預託して、金融緩和の一助としたい考えでおります。また当町にはかなりの金融機関があり、その全部とはいえませんが調達コストが高くなっているのでなかろうかと思います。そのため必然的に運用コストが高くなっている現状ではないかと思います。そのためには過当競争をやめて、安い金利で簡単な手続きで回れるよう町としても金融機関と話し合いし、協力を求めたいと考えております。

学区の統合、教育施設の充実

教育については、学校教育、社会教育とありますがとりあえず義務教育面では大きな学校もあれば、小さな学校もあり、格差があるので学校の統合を図りたいと考えております。統合中学のできた当時、学区の問題についてかなりの難関があったのであります。その他鷹巣小学校が狭隘であるといわれるが、かなりの越境入学があって当時の教育委員会では、これらの是正方を各部落で父兄の方々と話合いを持ったが、そのままになったようで、このまま放っておくとさらに格差がつくので、学区の統合行もないたいと思います。

四、五年前坊沢小学校の新築の時はよい機会だったと思います。七座小学校も古くなり、農免道路もできることから、坊沢を中心に緑ケ丘小、七座小、黒沢小谷分校、沢口小学校と坊山小学校、竜森小と葛黒小の統合などできないもののか、これらについては教育委員会、父兄、児童の意向を強力に進め、水沢事故のプールは必要な施設となりましたので、将来年次計画の旧市町村ごとの用地補償に関係者と話合いを進めたいと考えております。

また、栄小学校のプールは、当初予算にも今回の補正にもみえましたが、もはやプールは必要な施設となりましたので、将来年次計画の旧市町村ごとの用地補償に関係者と話合いを進めたいと考えております。

道路は年次計画で整備

鷹巣駅前拡幅をすすめる

道路については将来町道となるべき路線とか、拡幅改良を要する路線とかにどの程度資金を要するか調査を行なって、年次計画で、整備するようにしたいと考えております。

都市計画事業としての駅前拡幅は多年の懸案でした事が、今回七〇〇万円近い予算がついてはそれぞれ関係方面に働きかけ早期完成を期したいと考えております。

農業災害の受益者負担を一割に

農業等の災害関係については、地域のかなりの河川の他の河川でも、あるいはその他の河川で堤防欠潰その他の災害は、町の責任で危険なことであり、補助助成は一時的なその目的にそったものであるのでやはり大切なものであり、それを如何に役場の人件費を減らすか、町の事業を減らすか、さもなければ税金を多くするかの重大な別れ道に立っているのであります。

このことは今に始まったことではなく、丁度一〇年の上におねがいしたいと考えております。さらに各種負担金の問題ですが、法律上義務づけられたものでない負担金助成金もかなり多い。現在の他からの農業はその種のものが多いと過去数回指摘を受けたと聞いております。なるほど調べて見ると随分多いのですが、ただ大切なのは必ず町の責任において やらねばならないのであり、かなりの資金を要するのであります。

この反面おそろしいことは次に臨時の名で増員が行なわれていたことです。

農業職員一人当り平均の給与は、これに本人に支払っている給与だけでなく、町の負担分も入れた数字で、一人年八〇万円位です。また物件費も他町村よりも高い数字となっています。このため必要な消耗品その他のものが圧迫をされなければよいがと考えております。さらに事業後の償還もかなり大きな額となっており、現在財政は最大のピンチにあると率直に認めざるを得ないのですが、これは必ず解決しなければならない問題です。

ですから、町の事業を減らすための問題点をはらんでおるわけで、町民多数の協力の上に立っておりますが、現在でも頭首工とか、それに付帯した工事はやはり当初沢山の資金を要すると申しましたが、これを端的に解決するには単に補助との一時的なものに期待することは極めて危険なことであり、補助助成は一時的なその目的にそったものであるのでやはり大切なものであり、それを如何に役場の人件費を減らすか、町の事業を減らすかの問題であって必ず是正しなければならないと思っていますが、かなりの資金を要するのであります。

この反面おそろしいことは次に臨時の名で増員が行なわれていたことです。

農業職員一人当り平均の給与は、これに本人に支払っている給与だけでなく、町の負担分も入れた数字で、一人年八〇万円位です。また物件費も他町村よりも高い数字となっています。このため必要な消耗品その他のものが圧迫をされなければよいがと考えております。さらに事業後の償還もかなり大きな額となっており、現在財政は最大のピンチにあると率直に認めざるを得ないのですが、これは必ず解決しなければならない問題です。

ですから、町の事業を減らすための問題点をはらんでおるわけで、町民多数の協力の上に立っているのであります。

このことは今に始まったことではなく、丁度一〇年の上におねがいしたいと考えております。さらに各種負担金の問題ですが、法律上義務づけられたものでない負担金助成金もかなり多い。現在の他からの農業はその種のものが多いと過去数回指摘を受けたと聞いています。

なお、この他火葬場、共同墓地の問題、農免道路の問題、向黒沢の橋の問題、あるいは町有財産の適正管理の問題、消防等の問題等沢山あるわけですが、約束したこと、あるいは随時移り変りのはげしい町民の声を遠慮なくとり入れまして議員の皆様方の絶大なご指導ご協力を期待して与えられた役割を十二分に果したいと思っております。

大変簡単ですが所信の一端を申し述べる次第です。

農業用水路の改善事業の推進

改善事業の推進をし、採算のとれるような農業を進め農家の方々の過重労働を改善については団地化の問題、融資上の諸問題があり、町単独では大したこともなし得ないので、農協の県連団体あるいは他の団体と協調して適宜に進めたいと思っております。

商工業者への金融緩和をはかる

商工業については業種も多く、内容も多岐で一概にどうともいえませんが、できれば業種別共同組織を作ることを助長しなくてはならないと考えております。

また低物価政策に競争力を持たせるため、企業診断を求めてまいりたいと思います。また、鷹巣町は物価が高いといわれていますので、これについても善処したいと考えております。

さらに町費の一部を預託して、金融緩和の一助としたい考えでおります。また当町にはかなりの金融機関があり、その全部とはいえませんが調達コストが高くなっているのでなかろうかと思います。そのため必然的に運用コストが高くなっている現状ではないかと思います。そのためには過当競争をやめて、安い金利で簡単な手続きで回れるよう町としても金融機関と話し合いし、協力を求めたいと考えております。

学区の統合、教育施設の充実

教育については、学校教育、社会教育とありますがとりあえず義務教育面では大きな学校もあれば、小さな学校もあり、格差があるので学校の統合を図りたいと考えております。統合中学のできた当時、学区の問題についてかなりの難関があったのであります。その他鷹巣小学校が狭隘であるといわれるが、かなりの越境入学があって当時の教育委員会では、これらの是正方を各部落で父兄の方々と話合いを持ったが、そのままになったようで、このまま放っておくとさらに格差がつくので、学区の統合行もないたいと思います。

四、五年前坊沢小学校の新築の時はよい機会だったと思います。七座小学校も古くなり、農免道路もできることから、坊沢を中心に緑ケ丘小、七座小、黒沢小谷分校、沢口小学校と坊山小学校、竜森小と葛黒小の統合などできないもののか、これらについては教育委員会、父兄、児童の意向を強力に進め、水沢事故のプールは必要な施設となりましたので、将来年次計画の旧市町村ごとの用地補償に関係者と話合いを進めたいと考えております。

また、栄小学校のプールは、当初予算にも今回の補正にもみえましたが、もはやプールは必要な施設となりましたので、将来年次計画の旧市町村ごとの用地補償に働きかけ早期完成を期したいと考えております。

道路は年次計画で整備

鷹巣駅前拡幅をすすめる

道路については将来町道となるべき路線とか、拡幅改良を要する路線とかにどの程度資金を要するか調査を行なって、年次計画で、整備するようにしたいと考えております。

都市計画事業としての駅前拡幅は多年の懸案でした事が、今回七〇〇万円近い予算がついてはそれぞれ関係方面に働きかけ早期完成を期したいと考えております。

農業災害の受益者負担を一割に

農業等の災害関係については、地域のかなりの河川の他の河川でも、あるいはその他の河川で堤防欠潰その他の災害は、町の責任で危険なことであり、補助助成は一時的なその目的にそったものであるのでやはり大切なものであり、それを如何に役場の人件費を減らすか、町の事業を減らすかの問題であって必ず是正しなければならないと思っていますが、かなりの資金を要するのであります。

この反面おそろしいことは次に臨時の名で増員が行なわれていたことです。

農業職員一人当り平均の給与は、これに本人に支払っている給与だけでなく、町の負担分も入れた数字で、一人年八〇万円位です。また物件費も他町村よりも高い数字となっています。このため必要な消耗品その他のものが圧迫をされなければよいがと考えております。さらに事業後の償還もかなり大きな額となっており、現在財政は最大のピンチにあると率直に認めざるを得ないのですが、これは必ず解決しなければならない問題です。

ですから、町の事業を減らすための問題点をはらんでおるわけで、町民多数の協力の上に立っているのであります。

このことは今に始まったことではなく、丁度一〇年の上におねがいしたいと考えております。さらに各種負担金の問題ですが、法律上義務づけられたものでない負担金助成金もかなり多い。現在の他からの農業はその種のものが多いと過去数回指摘を受けたと聞いています。

なお、この他火葬場、共同墓地の問題、農免道路の問題、向黒沢の橋の問題、あるいは町有財産の適正管理の問題、消防等の問題等沢山あるわけですが、約束したこと、あるいは随時移り変りのはげしい町民の声を遠慮なくとり入れまして議員の皆様方の絶大なご指導ご協力を期待して与えられた役割を十二分に果したいと思っております。

大変簡単ですが所信の一端を申し述べる次第です。

農業用水路の改善事業の推進

改善事業の推進をし、採算のとれるような農業を進め農家の方々の過重労働を改善

産業の振興と所得の向上

第二点は、産業の振興を図らなければならないと思います。

町の台所を賄うのは税金であり、所得を増やすことは最大の眼目であります。その方法はたくさんあるわけで、農業、工業、商業において生産を増大させると、売り上げを増やし安定した所得を増やし安定した持続維持することです。

農業については、各種団体とくに農協、土地改良区などの持ち味を十分活用いたしたいと思います。

企業農業が叫ばれてからだいぶん久しくなり、個々の反対などあって難関にぶつかっていますが、これは全地域に関係はないが、大野台の総合開発はことしから三カ年調査し、その後七年で工事が完了しますが、約二千七百町歩位の開田が、五十億円を投じ国営事業で行なわれます。当町では六百町歩ぐらいの開田が行なわれ、稲作収入も増加とともに、調査期間中でも実施期間中でも農家の経営規模の拡大のためであります。

それから中学校の集団宿泊所の側に寄宿舎を設置し

学区の統合、教育施設の充実

教育については、学校教育、社会教育とありますがとりあえず義務教育面では大きな学校もあれば、小さな学校もあり、格差があるので学校の統合を図りたいと考えております。統合中学のできた当時、学区の問題についてかなりの難関があったのであります。その他鷹巣小学校が狭隘であるといわれるが、かなりの越境入学があって当時の教育委員会では、これらの是正方を各部落で父兄の方々と話合いを持ったが、そのままになったようで、このまま放っておくとさらに格差がつくので、学区の統合行もないたいと思います。

四、五年前坊沢小学校の新築の時はよい機会だったと思います。七座小学校も古くなり、農免道路もできることから、坊沢を中心に緑ケ丘小、七座小、黒沢小谷分校、沢口小学校と坊山小学校、竜森小と葛黒小の統合などできないもののか、これらについては教育委員会、父兄、児童の意向を強力に進め、水沢事故のプールは必要な施設となりましたので、将来年次計画の旧市町村ごとの用地補償に関係者と話合いを進めたいと考えております。

また、栄小学校のプールは、当初予算にも今回の補正にもみえましたが、もはやプールは必要な施設となりましたので、将来年次計画の旧市町村ごとの用地補償に働きかけ早期完成を期したいと考えております。

道路は年次計画で整備

鷹巣駅前拡幅をすすめる

道路については将来町道となるべき路線とか、拡幅改良を要する路線とかにどの程度資金を要するか調査を行なって、年次計画で、整備するようにしたいと考えております。

都市計画事業としての駅前拡幅は多年の懸案でした事が、今回七〇〇万円近い予算がついてはそれぞれ関係方面に働きかけ早期完成を期したいと考えております。

農業災害の受益者負担を一割に

農業等の災害関係については、地域のかなりの河川の他の河川でも、あるいはその他の河川で堤防欠潰その他の災害は、町の責任で危険なことであり、補助助成は一時的なその目的にそったものであるのでやはり大切なものであり、それを如何に役場の人件費を減らすか、町の事業を減らすかの問題であって必ず是正しなければならないと思っていますが、かなりの資金を要するのであります。

この反面おそろしいことは次に臨時の名で増員が行なわれていたことです。

農業職員一人当り平均の給与は、これに本人に支払っている給与だけでなく、町の負担分も入れた数字で、一人年八〇万円位です。また物件費も他町村よりも高い数字となっています。このため必要な消耗品その他のものが圧迫をされなければよいがと考えております。さらに事業後の償還もかなり大きな額となっており、現在財政は最大のピンチにあると率直に認めざるを得ないのですが、これは必ず解決しなければならない問題です。

ですから、町の事業を減らすための問題点をはらんでおるわけで、町民多数の協力の上に立っているのであります。

このことは今に始まったことではなく、丁度一〇年の上におねがいしたいと考えております。さらに各種負担金の問題ですが、法律上義務づけられたものでない負担金助成金もかなり多い。現在の他からの農業はその種のものが多いと過去数回指摘を受けたと聞いています。

なお、この他火葬場、共同墓地の問題、農免道路の問題、向黒沢の橋の問題、あるいは町有財産の適正管理の問題、消防等の問題等沢山あるわけですが、約束したこと、あるいは随時移り変りのはげしい町民の声を遠慮なくとり入れまして議員の皆様方の絶大なご指導ご協力を期待して与えられた役割を十二分に果したいと思っております。

大変簡単ですが所信の一端を申し述べる次第です。

農業用水路の改善事業の推進

改善事業の推進をし、採算のとれるような農業を進め農家の方々の過重労働を改善

産業の振興と所得の向上

第二点は、産業の振興を図らなければならないと思います。

町の台所を賄うのは税金であり、所得を増やすことは最大の眼目であります。その方法はたくさんあるわけで、農業、工業、商業において生産を増大させると、売り上げを増やし安定した所得を増やし安定した持続維持することです。

農業については、各種団体とくに農協、土地改良区などの持ち味を十分活用いたしたいと思います。

企業農業が叫ばれてからだいぶん久しくなり、個々の反対などあって難関にぶつかっていますが、これは全地域に関係はないが、大野台の総合開発はことしから三カ年調査し、その後七年で工事が完了しますが、約二千七百町歩位の開田が、五十億円を投じ国営事業で行なわれます。当町では六百町歩ぐらいの開田が行なわれ、稲作収入も増加とともに、調査期間中でも実施期間中でも農家の経営規模の拡大のためであります。

それから中学校の集団宿泊所の側に寄宿舎を設置し

〈一面より続く〉

退職所得控除の引上げ

所得税法の一部を改正する法律の施行に伴ない、昭和四十二年六月一日前に支払われた退職手当等に係る分離課税に係る所得割のうち過納となる額についての他所得税法の改正に伴なう規定の整備等を行なう。

公民館使用を緩和

公民館を使用する場合、町および公民館が事業実施用する場合を除き、使用料を徴収することができることになっていましたが、町の教育、学術、産業、文化団体が公共的事業を行なう場合に使用料が免除されるように拡大した。

〈議案第三五号〉

町有土地の無償譲渡

脇神字藤株、陳場岱地区を地元増反の際、道路として存置したのであるが、その後この地区を陳場岱土地改良区を設置し、開田区画整理を実施した結果事実上その用途を失なったもの。

地積一町四反二畝十一歩

〈議案第四四号〉

ゴミ処理場新設し

集塵を農村部まで拡大

環境衛生については、ごみ処理に今回約二、一〇〇万円で焼却場の新設を提案しましたが、これについてはこれ以外に町村地帯でも大きな問題となっている現状であります。現在一二〇万円程度の手数料を徴収しているが、徴収のため人件費が八〇万円位かかっている状態であり、鷹巣町と同じ位の他町村でごみの手数料をとらないでやっている町村もあり、鷹巣町と同借入して関係者に半分程分担し、地元の受益者の負担、特に財産区に過分の負担をお願いして辛うじてやって来たのが現在の姿であると思います。

従って町財政の収入である町税の現況をみると大体年一〇割位の伸び率に対し人件費伸びはべアなどで一二割程度となっており、このことは類似団体と較べてみた場合、驚くべき数字となっております。即ち町の自賄い出来る財源の九六割は人件費によって占められており、これは類似団体の七五割より二〇割も上回っているのであります。更に昭和四十二年度当初予算に占める人件費は五三・七割で勿論当初予算は骨格予算でしたが、他の町村が四二・七割であるのに較べると、かなり高い人件費の率であり、然もこの人件費の中にはかなり個々の不均衡の問題があって必ず是正しなければならないと思っていますが、かなりの資金を要するのであります。

この反面おそろしいことは次に臨時の名で増員が行なわれていたことです。

農業職員一人当り平均の給与は、これに本人に支払っている給与だけでなく、町の負担分も入れた数字で、一人年八〇万円位です。また物件費も他町村よりも高い数字となっています。このため必要な消耗品その他のものが圧迫をされなければよいがと考えております。さらに事業後の償還もかなり大きな額となっ

農業用水路の改善事業の推進

改善事業の推進をし、採算のとれるような農業を進め農家の方々の過重労働を改善

産業の振興と所得の向上

第二点は、産業の振興を図らなければならないと思います。

町の台所を賄うのは税金であり、所得を増やすことは最大の眼目であります。その方法はたくさんあるわけで、農業、工業、商業において生産を増大させると、売り上げを増やし安定した所得を増やし安定した持続維持することです。

農業については、各種団体とくに農協、土地改良区などの持ち味を十分活用いたしたいと思います。

企業農業が叫ばれてからだいぶん久しくなり、個々の反対などあって難関にぶつかっていますが、これは全地域に関係はないが、大野台の総合開発はことしから三カ年調査し、その後七年で工事が完了しますが、約二千七百町歩位の開田が、五十億円を投じ国営事業で行なわれます。当町では六百町歩ぐらいの開田が行なわれ、稲作収入も増加とともに、調査期間中でも実施期間中でも農家の経営規模の拡大のためであります。

それから中学校の集団宿泊所の側に寄宿舎を設置し

学区の統合、教育施設の充実

教育については、学校教育、社会教育とありますがとりあえず義務教育面では大きな学校もあれば、小さな学校もあり、格差があるので学校の統合を図りたいと考えております。統合中学のできた当時、学区の問題についてかなりの難関があったのであります。その他鷹巣小学校が狭隘であるといわれるが、かなりの越境入学があって当時の教育委員会では、これらの是正方を各部落で父兄の方々と話合いを持ったが、そのままになったようで、このまま放っておくとさらに格差がつくので、学区の統合行もないたいと思います。

四、五年前坊沢小学校の新築の時はよい機会だったと思います。七座小学校も古くなり、農免道路もできることから、坊沢を中心に緑ケ丘小、七座小、黒沢小谷分校、沢口小学校と坊山小学校、竜森小と葛黒小の統合などできないもののか、これらについては教育委員会、父兄、児童の意向を強力に進め、水沢事故のプールは必要な施設となりましたので、将来年次計画の旧市町村ごとの用地補償に関係者と話合いを進めたいと考えております。

また、栄小学校のプールは、当初予算にも今回の補正にもみえましたが、もはやプールは必要な施設となりましたので、将来年次計画の旧市町村ごとの用地補償に働きかけ早期完成を期したいと考えております。

道路は年次計画で整備

鷹巣駅前拡幅をすすめる

道路については将来町道となるべき路線とか、拡幅改良を要する路線とかにどの程度資金を要するか調査を行なって、年次計画で、整備するようにしたいと考えております。

都市計画事業としての駅前拡幅は多年の懸案でした事が、今回七〇〇万円近い予算がついてはそれぞれ関係方面に働きかけ早期完成を期したいと考えております。

農業災害の受益者負担を一割に

農業等の災害関係については、地域のかなりの河川の他の河川でも、あるいはその他の河川で堤防欠潰その他の災害は、町の責任で危険なことであり、補助助成は一時的なその目的にそったものであるのでやはり大切なものであり、それを如何に役場の人件費を減らすか、町の事業を減らすかの問題であって必ず是正しなければならないと思っていますが、かなりの資金を要するのであります。

この反面おそろしいことは次に臨時の名で増員が行なわれていたことです。

農業職員一人当り平均の給与は、これに本人に支払っている給与だけでなく、町の負担分も入れた数字で、一人年八〇万円位です。また物件費も他町村よりも高い数字となっています。このため必要な消耗品その他のものが圧迫をされなければよいがと考えております。さらに事業後の償還もかなり大きな額となっ

健全財政へ努力したい

その他にも沢山あるわけですが、当町は市に近い人口をもっており、立地条件としては北秋田郡の郡都で算である。また各種の国や県その他の団体の出先機関が集中しており交通の要地でもあります。

公民館使用を緩和

公民館を使用する場合、町および公民館が事業実施用する場合を除き、使用料を徴収することができることになっていましたが、町の教育、学術、産業、文化団体が公共的事業を行なう場合に使用料が免除されるように拡大した。

〈議案第三五号〉

町有土地の無償譲渡

脇神字藤株、陳場岱地区を地元増反の際、道路として存置したのであるが、その後この地区を陳場岱土地改良区を設置し、開田区画整理を実施した結果事実上その用途を失なったもの。

地積一町四反二畝十一歩

〈議案第四四号〉

ゴミ処理場新設し

集塵を農村部まで拡大

環境衛生については、ごみ処理に今回約二、一〇〇万円で焼却場の新設を提案しましたが、これについてはこれ以外に町村地帯でも大きな問題となっている現状であります。現在一二〇万円程度の手数料を徴収しているが、徴収のため人件費が八〇万円位かかっている状態であり、鷹巣町と同じ位の他町村でごみの手数料をとらないでやっている町村もあり、鷹巣町と同借入して関係者に半分程分担し、地元の受益者の負担、特に財産区に過分の負担をお願いして辛うじてやって来たのが現在の姿であると思います。

従って町財政の収入である町税の現況をみると大体年一〇割位の伸び率に対し人件費伸びはべアなどで一二割程度となっており、このことは類似団体と較べてみた場合、驚くべき数字となっております。即ち町の自賄い出来る財源の九六割は人件費によって占められており、これは類似団体の七五割より二〇割も上回っているのであります。更に昭和四十二年度当初予算に占める人件費は五三・七割で勿論当初予算は骨格予算でしたが、他の町村が四二・七割であるのに較べると、かなり高い人件費の率であり、然もこの人件費の中にはかなり個々の不均衡の問題があって必ず是正しなければならないと思っていますが、かなりの資金を要するのであります。

この反面おそろしいことは次に臨時の名で増員が行なわれていたことです。

農業職員一人当り平均の給与は、これに本人に支払っている給与だけでなく、町の負担分も入れた数字で、一人年八〇万円位です。また物件費も他町村よりも高い数字となっています。このため必要な消耗品その他のものが圧迫をされなければよいがと考えております。さらに事業後の償還もかなり大きな額となっ

農業用水路の改善事業の推進

改善事業の推進をし、採算のとれるような農業を進め農家の方々の過重労働を改善

産業の振興と所得の向上

第二点は、産業の振興を図らなければならないと思います。

町の台所を賄うのは税金であり、所得を増やすことは最大の眼目であります。その方法はたくさんあるわけで、農業、工業、商業において生産を増大させると、売り上げを増やし安定した所得を増やし安定した持続維持することです。

農業については、各種団体とくに農協、土地改良区などの持ち味を十分活用いたしたいと思います。

企業農業が叫ばれてからだいぶん久しくなり、個々の反対などあって難関にぶつかっていますが、これは全地域に関係はないが、大野台の総合開発はことしから三カ年調査し、その後七年で工事が完了しますが、約二千七百町歩位の開田が、五十億円を投じ国営事業で行なわれます。当町では六百町歩ぐらいの開田が行なわれ、稲作収入も増加とともに、調査期間中でも実施期間中でも農家の経営規模の拡大のためであります。

それから中学校の集団宿泊所の側に寄宿舎を設置し

学区の統合、教育施設の充実

教育については、学校教育、社会教育とありますがとりあえず義務教育面では大きな学校もあれば、小さな学校もあり、格差があるので学校の統合を図りたいと考えております。統合中学のできた当時、学区の問題についてかなりの難関があったのであります。その他鷹巣小学校が狭隘であるといわれるが、かなりの越境入学があって当時の教育委員会では、これらの是正方を各部落で父兄の方々と話合いを持ったが、そのままになったようで、このまま放っておくとさらに格差がつくので、学区の統合行もないたいと思います。

四、五年前坊沢小学校の新築の時はよい機会だったと思います。七座小学校も古くなり、農免道路もできることから、坊沢を中心に緑ケ丘小、七座小、黒沢小谷分校、沢口小学校と坊山小学校、竜森小と葛黒小の統合などできないもののか、これらについては教育委員会、父兄、児童の意向を強力に進め、水沢事故のプールは必要な施設となりましたので、将来年次計画の旧市町村ごとの用地補償に関係者と話合いを進めたいと考えております。

また、栄小学校のプールは、当初予算にも今回の補正にもみえましたが、もはやプールは必要な施設となりましたので、将来年次計画の旧市町村ごとの用地補償に働きかけ早期完成を期したいと考えております。

道路は年次計画で整備

鷹巣駅前拡幅をすすめる

道路については将来町道となるべき路線とか、拡幅改良を要する路線とかにどの程度資金を要するか調査を行なって、年次計画で、整備するようにしたいと考えております。

都市計画事業としての駅前拡幅は多年の懸案でした事が、今回七〇〇万円近い予算がついてはそれぞれ関係方面に働きかけ早期完成を期したいと考えております。

農業災害の受益者負担を一割に

農業等の災害関係については、地域のかなりの河川の他の河川でも、あるいはその他の河川で堤防欠潰その他の災害は、町の責任で危険なことであり、補助助成は一時的なその目的にそったものであるのでやはり大切なものであり、それを如何に役場の人件費を減らすか、町の事業を減らすかの問題であって必ず是正しなければならないと思っていますが、かなりの資金を要するのであります。

この反面おそろしいことは次に臨時の名で増員が行なわれていたことです。

農業職員一人当り平均の給与は、これに本人に支払っている給与だけでなく、町の負担分も入れた数字で、一人年八〇万円位です。また物件費も他町村よりも高い数字となっています。このため必要な消耗品その他のものが圧迫をされなければよいがと考えております。さらに事業後の償還もかなり大きな額となっ

健全財政へ努力したい

その他にも沢山あるわけですが、当町は市に近い人口をもっており、立地条件としては北秋田郡の郡都で算である。また各種の国や県その他の団体の出先機関が集中しており交通の要地でもあります。

お知らせ

印紙税法の改正により、印鑑証明にもちいる委任状に添付する収入印紙は、七月一日から二〇円に改められましたので、ご了承下さい。

❖スポット❖ 親米政策はいけません

ただしこの親米の米は白米のこと。白米にはビタミンB1がほとんどありません。強化米、強化麦を食べましょう。おかずには豆、大根の葉のぬかづけ。申込締切　七月十八日。

稚鯉の申込みについて

養殖用小鯉（一寸～二・五寸）を斡旋します。申込み希望者は役場農林課へお問合わせ下さい。

中小企業振興に資金保証

最高30万円まで融資

この資金保証制度は、町内の中小企業者の方々のしごとを盛んにするため、経営に必要な資金を保証融資し、企業の安定、業界の振興に役立てる制度です。

資金は秋田県信用保証協会に予託(百万円)し、町内業者が予託金の五倍にあたる五百万円が融資されるわけです。取扱い金融機関は各銀行(相互)支店、北秋信用組合です。

融資の対象は①町内に居住する小規模事業者で町内に店舗、工事を有するもので引続き一年以上同一事業を営んでいるもので町税を完納した者②資金の使途は運転資金または軽易な設備資金とする③保証の限度額は三十万円④保証期間は一カ年以内⑤返済方法、一括および割賦選択する⑥保証の条件として保証人一名以上とする。⑦貸出の利率は日歩二銭四厘以内⑧保証料は日歩四厘以内。申込、事務手続きは商工会で取扱います。

鷹巣町中小企業振興資金保証制度予託金が、六月定例町議会で予算百万円を出えんされることになりました。

中学校卒業生の動向

就職者は二五パーセント

ことし三月町内中学校卒業生徒の動向の結果がこのほどまとまりました。

それによりますと、卒業者数は六百三十三人。うち進学者は全体の六七・六%で四百三十八人。就職者百五十九人、無業四十六人となっています。

就職者のうち第一次産業(自営農業従事者)は六人、第二産業百十一人、第三次産業四十二人の産業分類となります。県内外の就職先は、県内六十一人(三人)、県外九十八人(六十一・七%)となっており、昨年に比較すると県内就職者は六・五%減少しています。県外就職者の県は日光四厘以内。申込、事務手続きは商工会で取扱います。

7月から9月までの天気予報

六月二十日付で秋田地方気象台が発表した七月からの天気予報はつぎのとおりです。

(概況)

この夏は

ここ一～二年よりは暑い日が多く、雨量も少な目の傾向がありますので、所によっては水不足のおそれがあります。しかし雷雨活動が活発なので局部的に大雨になるところがあるでしょう。

つゆは七月中旬には明けますが、下旬から八月にかけて、もどりつゆがあり、一時的に低温となるおそれがあります。また日本に接近もしくは上陸する台風は各月に一個ぐらいあるみこみです。

(気温)

七月…平年並ですが、いくらか低いところがあるでしょう。とくに低温の日立つ時期は上旬と下旬前半ごろになるでしょう。

八月…前半には一時低温の時期もありますが、暑い日が多いみこみです。しかし下旬には暑さもしのきやすくなるでしょう。月平均では大体平年並でしょう。

九月…月のはじめは一時残暑気味の日もあり、前半はやや高いみこみですが、後半は低目となり月平均では大体平年並ぐらいでしょう。

(降水量)

七月…前半は比較的梅雨前線の活動が活発となり、雨が降りやすくなりましょう。ところにより集中豪雨のおそれがあります。後半には夏型の天気が現われやすくなりますが、下旬はじめごろ一時つゆのもどりがあるでしょう。月の総雨量としては平年並ですが、局部的な大雨でやや多目となるところがあるかも知れません。

八月…夏型の天候が現われやすいみこみですが、下旬には前線が日本付近に停滞して一時天候の崩れやすくなるでしょう。月の総雨量は台風の経路で大きく変りますが、傾向としては平年並かやや多いみこみです。

九月…月はじめごろ残暑気味の天候が現われますが、性高気圧が通りやすくなります。また秋雨前線が停滞しやすくなるので天気は崩れやすくなるでしょう。月の総雨量は台風の経路で大崩れやすくなるでしょう。月の総雨量としては平年並のみこみです。

新聞ありがとう

中卒就職生から礼状

ことし管内中学校を卒業し県外に就職した方に、町では六月と七月の二カ月間郷土日刊紙を町費で七十六カ所へ送って激励しています。

六月十日付で鷹巣中学校を卒業して、川崎市に就職した松尾政己君(東旭町)から役場へお礼状がありましたので紹介します。

×

拝啓

役場のみなさん、お手紙どうもありがとうございました。

ぼくは川崎市の新日鉄K K に今年入社しました。

ぼくも一生懸命頑張ります。急いで書いてしまいして乱字で失礼します。

それでは。

鷹巣町役場様

東京都小平市小川西町二二六〇

職業訓練大学校(総訓寮)

松尾政己

太田簡易郵便局

七月一日から業務開始

去る三月定例町議会において、太田簡易郵便局(委託事務取扱者・長谷川啓司)を設置するよう郵政大臣に申請する議決を経ておりましたが、このほど設置認可になり七月一日から業務を開始した。

太田簡易郵便局は、沢口竜森、南鷹巣について開局した。

降ひょうで農作物に大きな被害

○…六月五日午後五時過ぎ、沢口藤株、脇神、栄摩組合、関係農業協同組合を含めた「降ひょう被害対策本部」(本部長出川礼一)を設置、被害対策にのり出した。

被害を受けた水田百八十㌶。うち二十㌶が植え替え補植程度が六十㌶、いたんだ程度のものが百㌶。馬鈴薯五㌶、そ菜三十㌶、ぶどう二㌶。

【写真上=ほとんどこわれた沢口小・校舎の窓ガラス。下=果樹や茎がひょうでたたかれた馬鈴薯】

被害を受けた水田百八十㌶。うち二十㌶が植え替えられ、いたんだ程度のものが百㌶。馬鈴薯五㌶、そ菜三十㌶、ぶどう二㌶。

【写真上=ほとんどこわれた沢口小・校舎の窓ガラス。下=果樹や茎がひょうでたたかれた馬鈴薯】

○…町では、翌七日町当局、農業委員会、農業共済組合、関係農業協同組合を含めた「降ひょう被害対策本部」(本部長出川礼一)直径一～三㌢という記録的なヒョウが降り家屋(主にガラス)農作物に大きな被害を出した。

○…公共建物である沢口小では、窓ガラスが約八百枚が破損し、翌日高学年生は出校して破損したガラスの後かたづけを行なった。

栄小でも二十七枚がこわれた。

○…町では、翌七日町当局、農業委員会、農業共済組合、関係農業協同組合を含めた「降ひょう被害対策本部」(本部長出川礼一)直径一～三㌢という記録的なヒョウが降り家屋(主にガラス)農作物に大きな被害を出した。

○…公共建物である沢口小では、窓ガラスが約八百枚が破損し、翌日高学年生は出校して破損したガラスの後かたづけを行なった。

栄小でも二十七枚がこわれた。

○…町では、翌七日町当局、農業委員会、農業共済

坊沢踏切り人道橋が完成

奥羽本線坊沢踏切除却工事による人道橋が完成しました。

【写真は完成した坊沢踏切り人道橋の近景と遠景】

坊沢踏切り人道橋は、昨年九月鷹巣陸橋が完成したのに引続き北秋田土木事務所の手でしゅん工したものです。

延長六十四・五㍍、幅員二・五㍍、双方に三段がまえ、四十六の階段がついている。なお人道橋にはスレート屋根がつき、雨や雪などを防ぐ装置をしており、いずれも高勝、それが原因して一八・三%値上しました。

副食品では、味そ、ザラメが若干高騰して三・三%値上昇。

塩干物では、干若芽が値上り、前月より一・八%上昇。

鮮魚類は調査品目三の内、サバ、イカ、ニシンまだこ、赤魚等が安く、タラ、サンマ、かれい、ほっけ、鯨、カト鮫が高騰したほかは保合して平均〇・八%上昇した。

野菜、青産品は下落したが、品目ごと高騰、下落の差が大きく、十五品目で安かったのは甘藷、ごぼう、玉ねぎ、キャベツ、ほうれん草、白菜で、大根、人参ネギ、長いもが値上りしたほか保合して〇・八%だけ下落、青産品は鶏卵の値下りが起因している。

こうして五月は食料品だけでも二・四%値上りし、総平均では一・五%高騰した。

【役場商工開発課調べ】

五月は野菜、畜産品は下落す

鷹巣町の消費者物価

五月の果実は調査品目三点で夏ミカンが六・二%値下し、リンゴで紅玉、国光上、昭和三十九年六月二十九日付をもって国際RCに正式加盟承認なり、四十年五月九日認証状伝達式が全国の集めて盛大に行なわれた国際的な交通なども行なわれている。

会の例会は毎木曜日の昼食時に行なわれている。

鷹巣RCは現在三十二名のクラブ員で、会の組織は会務、職業、社会、国際の四つの奉仕委員会に分かれていて活動している。

会務奉仕は親睦、情報、プログラム編成。職業奉仕では新入社員対して接客教育の実施。社会奉仕では、福祉施設への贈物、無医村無料診療のため六月十一日には竜森地区で、クラブ員医師が診断にあたった(写真)国際奉仕では、姉妹クラブであるデンボラ(オーストラリア)モレノ(アメリカ)クラブとの交歓を行なっている。これには写真八ミリフイルム、テープ、

クラブめぐり ④ 国際的な組織をもつ会

鷹巣ロータリークラブ

児童公園や中央公園に行くと、鉄製のくず入籠や、駅構内の公徳傘などは、私たち町民になじみが深いものばかりです。この社会奉仕事業を実施しているグループが鷹巣ロータリークラブ(会長高橋茂氏)です。

鷹巣ロータリークラブは福祉施設への贈物、無医村無料診療のため六月十一日には竜森地区で、クラブ員医師が診断にあたった(写真)国際奉仕では、姉妹クラブであるデンボラ(オーストラリア)モレノ(アメリカ)クラブとの交歓を行なっている。これには写真八ミリフイルム、テープ、

際的な交通なども行なわれている。

会の例会は毎木曜日の昼食時に行なわれている。

鷹巣RCは現在三十二名のクラブ員で、会の組織は会務、職業、社会、国際の四つの奉仕委員会に分かれていて活動している。

会務奉仕は親睦、情報、プログラム編成。職業奉仕では新入社員対して接客教育の実施。社会奉仕では、福祉施設への贈物、無医村無料診療のため六月十一日には竜森地区で、クラブ員医師が診断にあたった(写真)国際奉仕では、姉妹クラブ

中型ダンプカーを購入

このほど町では、町道整備補修するために中型ダンプカー(写真)一台を購入しました。

このダンプカーは総積載量四トン、いすゞ四二年式TYD型で百五十万円です。

町社会福祉協議会へご寄付

▽住吉町の村上鉄治さんから、亡母リチさんの香典返し三、〇〇〇円。

▽常ケ俗の小林久之助さんから、亡妻ハマさんの香典返し一〇、〇〇〇円。

このほど亡くなられた方の遺族から、町社会福祉協議会へ香典返しと寄付金を寄せられました。ご芳志に感謝いたします。

献血に感謝します

六月六日の献血者　百三十二人

去る六月六日秋田県赤十字血液センター献血車・あかつき号が来町し、献血申込みを百四十二人に対し、百三十二人が献血されました。

十人以上集団献血した事業所は、鷹巣営林署二十八人、役場二十七人、ハリマヤ被服二十人となっています。

献血してくださった方々に厚くお礼申し上げます。

なお、九月二十五日、十一月十三、十五日に献血車が来町の予定ですのでお知らせします。

献血者芳名

▽吉村猛司（福祉）▽長連次（東仲通）▽佐々木三次（福祉）▽沢田石正一（警察）▽大谷勇吉（保健所）▽三浦二二（営林署）▽福原剛、藤島妙子、佐藤清子（保健所）▽相馬藤ヲサ子、佐藤ヤス子、小塚ゆり子、畠山キヌ子、花田ヒデ、佐藤博、松尾和明子葉定男、桜井信子（ヘリ協）▽小松庄司（農林）▽小坂剛（保健所）▽高橋ヤエ（住吉町）▽鈴木康文（畠山電気）▽奈良律子（保健所）▽松尾八郎（農林）▽斎藤清美、米沢貞蔵（福祉）▽外山郁（東北商事）▽小林平八郎（保健所）▽野呂亀吉（役場）▽田村ウメ（大町）▽佐藤茂（保健所）▽佐藤俊治（土木）▽安井マサ子（千秋軒）▽三浦敏夫（農林）▽佐藤民義（吉鳥クリーニング）▽工藤太郎（土木）▽成田直人、畠山辰未（郵便局）▽畠山タマ（大町）▽石川マリ子、三浦祥子（五代儀美容院）▽岩谷三雄（住吉町）▽渡辺栄一（土木）▽護屋玲子、畠山保夫、高橋七郎（役場）▽佐藤由津子（福祉）▽相馬藤ヲサ子、佐藤ヤス子、小塚ゆり子、畠山キヌ子、花田ヒデ、佐藤博、松尾和明子葉定男、桜井信子（ヘリ協）▽小松庄司（農林）▽小坂剛（保健所）▽高橋ヤエ（住吉町）▽鈴木康文（畠山電気）▽奈良律子（保健所）▽松尾八郎（農林）▽斎藤清美、米沢貞蔵（福祉）▽外山郁（東北商事）▽小林平八郎（保健所）▽野呂亀吉（役場）▽田村ウメ（大町）▽佐藤茂（保健所）▽佐藤俊治（土木）▽安井マサ子（千秋軒）▽三浦敏夫（農林）▽佐藤民義（吉鳥クリーニング）▽工藤太郎（土木）▽成田直人、畠山辰未（郵便局）▽畠山タマ（大町）▽石川マリ子、三浦祥子（五代儀美容院）▽岩谷三雄（住吉町）▽渡辺栄一（土木）▽護屋玲子、畠山保夫、高橋七郎（役場）▽佐藤由津子（福祉）▽相馬藤ヲサ子、佐藤ヤス子、小塚ゆり子、畠山キヌ子、花田ヒデ、佐藤博、松尾和明子葉定男、桜井信子（ヘリ協）▽小松庄司（農林）▽小坂剛（保健所）▽高橋ヤエ（住吉町）▽鈴木康文（畠山電気）▽奈良律子（保健所）▽松尾八郎（農林）▽斎藤清美、米沢貞蔵（福祉）▽外山郁（東北商事）▽小林平八郎（保健所）▽野呂亀吉（役場）▽田村ウメ（大町）▽佐藤茂（保健所）▽佐藤俊治（土木）▽安井マサ子（千秋軒）▽三浦敏夫（農林）▽佐藤民義（吉鳥クリーニング）▽工藤太郎（土木）▽成田直人、畠山辰未（郵便局）▽畠山タマ（大町）▽石川マリ子、三浦祥子（五代儀美容院）▽岩谷三雄（住吉町）▽渡辺栄一（土木）▽護屋玲子、畠山保夫、高橋七郎（役場）

㊟：福祉、財務、農林、土木は総合庁舎関係

青少協世話人を委嘱

青少年健全育成について、いまほど強く叫ばれている時代は、過去にはなかったと思います。

青少年を明るく正しく伸びる方向に進めていくために地域や家庭のおとなの協力体制が必要と思われます。

本町においても、六月二十七日午前十時三十分から役場会議室で町青少年健全育成世話人と町青少年問題協議会の連名で、全地域から一一四名を委嘱しました。委嘱状交付した後、世話人の研修会を行ない、部落や町内で活動することになりました。

青少年健全育成世話人のかたがた。

▽鷹巣地区

中島喜代、林スエ、河田さよ、桜庭圭介、大川清孔、小野ヤエ、加藤タケ、成田キミ、三国平八郎、相馬文夫、高橋勝美、成田仁一郎、佐々木正義、小野裕子、中島利一郎、相馬マサ、津谷真子、桜庭トミ、細田キヨ、河田はま、佐藤富雄、大川一郎、梅田善三郎、松尾喜代、佐藤清一郎、佐藤貞夫、藤原喜代次、明石不二夫、布田三郎、久直、藤原政男、佐藤勝右衛門、相馬ハチヨ、藤原喜代次、明石不二夫、布田三郎、佐藤正、佐藤清一、佐藤忠治、千葉朝治、岩本金善、長崎直治、桜庭角蔵、嶺脇スエ、佐藤貞夫、藤原正孝、長岐哲治、佐藤七三郎、津谷喜市郎、佐藤七三郎、戸島豊三郎、佐藤忠治、千葉朝治、岩本金善、長崎直治、桜庭角蔵、嶺脇スエ、佐藤貞夫、藤原正孝、長岐哲治